

# 子ども議会 小学生の部

市内9校の小学校から代表として選ばれた19人が、子ども議員として参加しました。

議長1人と議員18人に分かれ、市議会と同じように議会を進めました。

子ども議員は、質問の順番になると登壇し、それぞれがしっかり考えて準備してきた質問やアイデア、意見、要望などを述べ、緊張した面持ちで一般質問に臨みました。

各小学校の子ども議員から出された質問と答弁の一部を紹介します。



御厨小学校

前田 美月 議員  
山本 匠馬 議員

●活気あるまちにするためには、みんなが好きなまちにすることが大切です。御厨町には閉校になった学校がありますが、その場所を活用して公園を造ったり、お店を造ったりしてはいいですか。

御厨地域には、閉校となった2つの小学校があります。地域の皆さんと跡地をどのように使っていくか話し合いをしています。地域の皆さんが集まれる「ふれあいの場」やグラウンドにできないかという意見が出ています。また、市外の会社が使ってみたいという声もあります。提案を参考にしたい、活気あるまちづくりのため、話し合いを続けていきたいと思っています。

青島小学校

上場 瑚乃葉 議員  
小山 陽楽 議員

●私たちは、きれいな青島の海がずっと続いていけばいいなと思っていますが、松浦市では、青島の海を守る取り組みを何かされていますか。または、考えられていますか。

きれいな青島の海を守るために、住民の皆さんが海岸の清掃に取り組みされており、市ではその活動を支援しています。また、海の水をきれいにする働きを持つ海藻を増やす取り組みに力を入れています。海岸にゴミが捨てられていないか、捨てている人がいないかパトロールをしています。皆さんも空き缶やゴミを捨てないようにして、みんなできれいな青島の海を守っていきましょう。



調川小学校

青井 颯汰 議員  
古富 花音 議員

●市内での旬あじ・旬さばの消費量、その他の商品化された海産物、また、調川漁港のイベントなどの取り組みを教えてください。

調川漁港では、平成27年度に9万4千トン(主なものはアジ3万2千トン、サバ3万2千トン)の水揚げがありました。旬あじ・旬さばは、主に市外に出荷され、市内では4、7月に旬あじ祭り、10、11月に旬さば祭りが開催され、過去5年間の実績の平均は、旬あじが3,500食で700キロ、旬さばが3,700食で700キロです。

魚市場では、毎年「おさかな祭り」を開催し、今年は10月8日に開催されます。

今福小学校

福浦 悠 議員  
中山 劉政 議員

●25年後の松浦市は、65歳以上が40%を超えることが予想され、高齢化が進むことで医療の充実が求められます。伊万里松浦病院の移転先が松浦市内であれば、さらに医療の充実が図れると思います。これらに対する考えを教えてください。

松浦市への伊万里松浦病院の移転が実現すれば、医療の充実が図れると思っています。松浦市には、救急患者を24時間いつでも受け入れることができる病院が無く、市内医療機関の医師の高齢化・後継者不足などの医療に対する不安があります。市としても、積極的に移転実現に向けて取り組みを進めているところです。



上志佐小学校

吉原なつみ 議員  
吉福 端月 議員

●農業をしている祖父母や父を見てみると、人数が少なくて農業は大変です。農業に携わる人がもっと増えていくような計画はありますか。

全国的に、農家の数や農業で生活している人の数は、毎年減少しています。また、農業者の高齢化、農業後継者不足が深刻化しています。

松浦市では、農業が魅力ある、やりがいのある職業となるように、また、効率的で安定した経営ができるように意欲と能力のある農業経営者をサポートしています。

一人でも多くの農業を目指す若い人に、松浦市内で安心して農業を始めもらえるように、今後も支援の計画を進めていきたいと考えています。



星鹿小学校

小賦 空雅 議員  
田崎陽菜乃 議員

●移动式100円ショップや移动式レンタルビデオ店などの車両が来れば、地域の幅広い世代が買い物を楽しめるのではないのでしょうか。

子どもの立場でお年寄りのことを真剣に考えてアイデアを出されたことは、素晴らしいことだと思います。

星鹿公民館で100円ショップのようなお店を出して買い物を楽しむイベントなどができるとかどうかを「生涯学習協議会」で協議・検討していただくこととします。

移动式レンタルビデオ店を行うには、著作権に伴う利用料として多額の税金が必要となり、市が行う仕事として適当ではありません。ご提案のサービスは公共機関ではなく、自由に活動できる民間経営者による展開が望ましいと考えます。



鷹島小学校

山田 康生 議員  
宮崎 美光 議員

●鷹島に学習環境の整った高等学校や大学を新設することで、鷹島に人が流れ、島全体の活気も高まると思います。島の活性化になるような教育環境整備や充実についての考えを聞かせてください。

鷹島にも高等学校がありましたが、平成18年3月に閉校になりました。

高等学校の設置は、都道府県が行います。入学する生徒数も関係するため、鷹島に新たに高等学校を設置することは難しい状況です。また、大学の新設も、文部科学省への手続きや審議会での審査など難しい問題が多くあります。

活性化につながる鷹島の小中学校の教育環境の整備や充実、教育支援員の配置を進め、来年度にパソコンや電子黒板などを整備し、ICT教育環境の充実を図ります。



福島養源小学校

吉田 颯太 議員  
川浪 澄空 議員

●松浦市では、どのような作物が盛んに作られていますか。また、その作物が多く作られている理由を教えてください。

平成27年度に松浦市内で一番多く生産されたのは、お米(水稲)です。日本の気候が高湿多雨な気候で、水稲栽培に適しており、日本で一番多く作られています。

野菜では、ハウスでアスパラガスやトマト、アールスメロン、屋外の畑では、ブロッコリー、スナップエンドウ、キャベツなどが多く作られています。アスパラやブロッコリーは栽培しやすいため、市内でも作られるようになりました。

ぶどうなどの果物は、松浦の気候や土の性質が栽培に適しており、栽培が始まりました。



志佐小学校

井元 紗羽 議員  
橋本 壮 議員

●松浦市の平成23年の市民一人当たりの所得は、県内13市中6番目です。松浦市の工業生産額を上げるためには、どのような方策が必要ですか。

松浦市の工業生産額を上げる方法は、二つあります。一つは、地元企業が業績を伸ばして新たな工場を造ることです。もう一つは、市外または県外から新しい企業に来てもらい、工場を造っていただくことです。

松浦市では、地元企業が市外や県外に出て行かないような支援を行ったり、他県の企業を松浦市に工場を作ってもらえるようPR活動を行ったりなど、工業生産額の増加に結び付く活動に取り組んでいます。

